



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2022年1月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2021年12月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。

百貨店売上高は前年同月を下回る。

家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コンは前年同月を下回り、セメントは前年同月を上回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルの

すべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)にお

いても前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2021年12月分)

◎2021年12月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

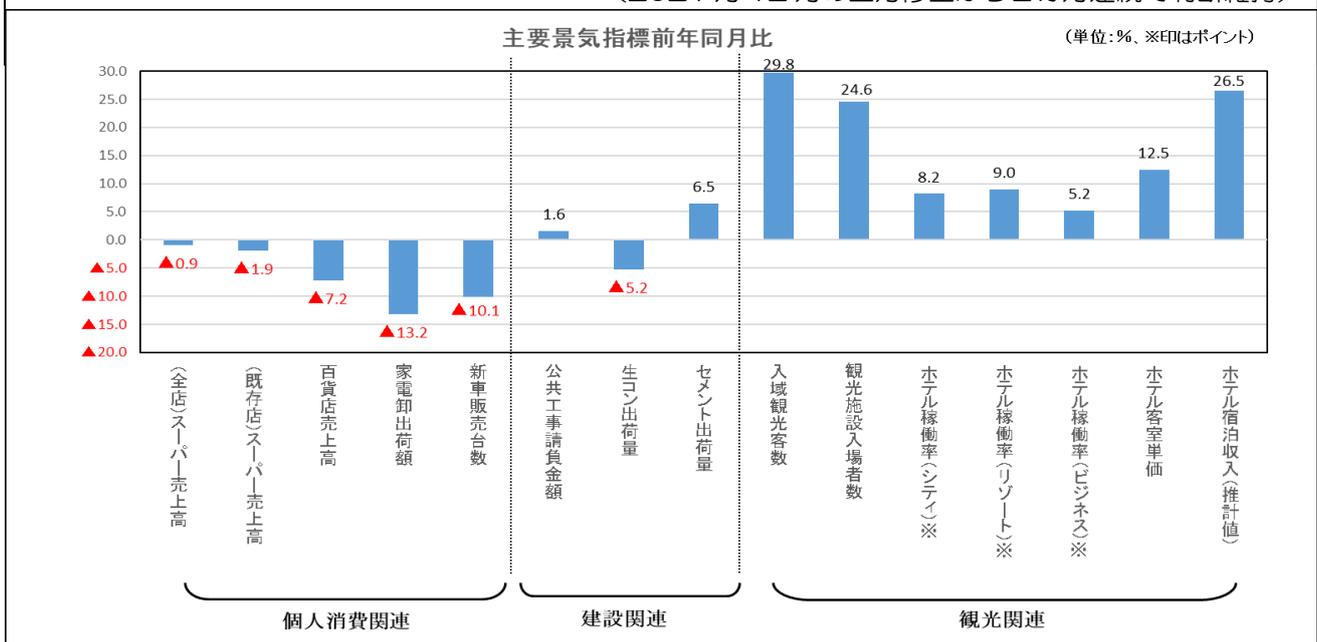
12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数も前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コンは前年同月を下回り、セメントは前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数においても前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は内食需要の落ち着きや、耐久消費財の供給制限などにより弱さが見られ、建設関連は民間工事に弱い動きが続いています。観光関連は、新型コロナウイルスの感染抑制による旅行需要の高まりなどにより、持ち直しの動きがみられます。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続くものの、一部に持ち直しの動きがみられる」と景気判断を据え置きました。但し、後半から見られた変異株の拡大による経済活動への影響を注視する必要があります。

(2021年12月の上方修正から2ヵ月連続で判断維持)



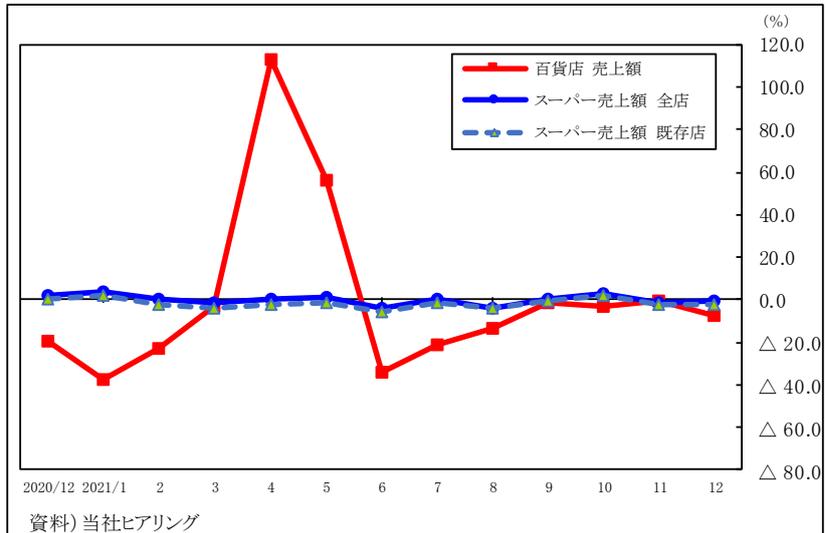


■個人消費： (やや悪い)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を下回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2020/12	2.2	0.4	△ 19.3
2021/1	3.9	1.7	△ 37.7
2	0.1	△ 2.1	△ 22.6
3	△ 1.7	△ 3.7	△ 3.5
4	0.2	△ 1.9	113.0
5	1.0	△ 1.0	56.4
6	△ 4.1	△ 5.6	△ 34.3
7	0.7	△ 1.3	△ 20.8
8	△ 3.6	△ 3.8	△ 13.7
9	0.0	△ 0.5	△ 1.2
10	2.9	2.3	△ 3.0
11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2



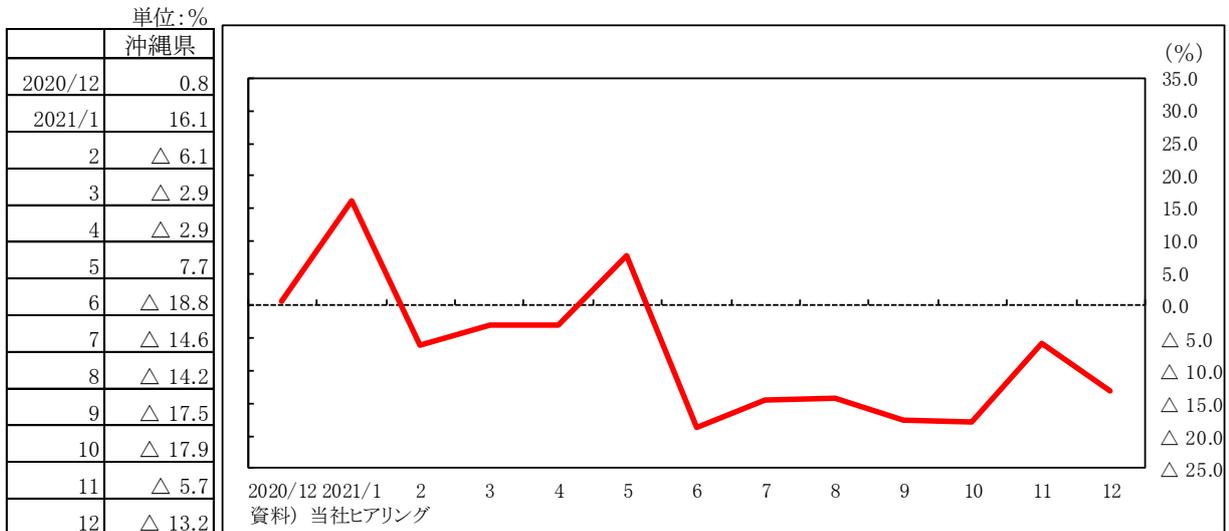
注) 前年同月比

12月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比0.9%減)」は、前年同月を下回りました。品目別では、「家庭用品(同1.1%増)」は年末にかけての売上増加などにより前年同月を上回りました。「食料品(同1.0%減)」は人流増加に伴う内食需要の減少などにより前年同月を下回り、「衣料品(同6.1%減)」については緊急事態宣言解除直後の11月に売上が大幅に増加した反動などから12月上旬の客足が鈍り、前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同1.9%減)」は、前年同月を下回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同1.6%減)」は、人流増加に伴う内食需要の減少などにより前年同月を下回りました。「衣料品(同6.9%減)」は緊急事態宣言解除直後の11月に需要が集中したことなどから12月上旬の客足が鈍り、前年同月を下回りました。「家庭用品(同1.7%減)」は前年の給付金の反動などにより、家電等の売上が落ち込み、前年同月を下回りました。

百貨店売上高は、前年同月を下回りました(同7.2%減)。内訳をみるとウエイトの高い、「食料品(同3.5%増)」は3ヵ月連続で前年同月を上回りました。「衣料品(同6.4%減)」は、前年同月を下回りました。「身の回り品(同5.4%減)」はクリスマスから年末にかけてのギフト商品が伸び悩み、前年同月を下回りました。「雑貨(同30.6%減)」、「家庭用品(同22.7%減)」は、売り場面積の減少(テナント化)などがあり、前年同月を下回ったことから、全体としては7ヵ月連続で前年同月を下回りました。

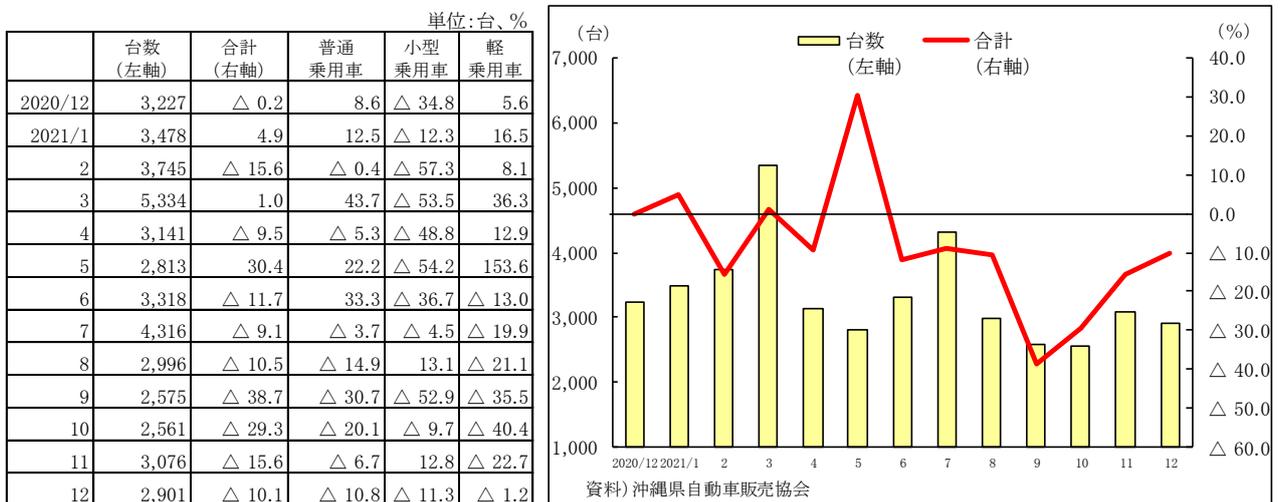
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は7ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、7ヵ月連続で前年同月を下回りました(同13.2%減)。品目別では、「エアコン(同19.0%減)」、「テレビ(同19.2%減)」は、世界的な半導体不足の影響による部品不足、昨年の給付金により家電に対する需要がひと段落していることなどから、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、7ヵ月連続で前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

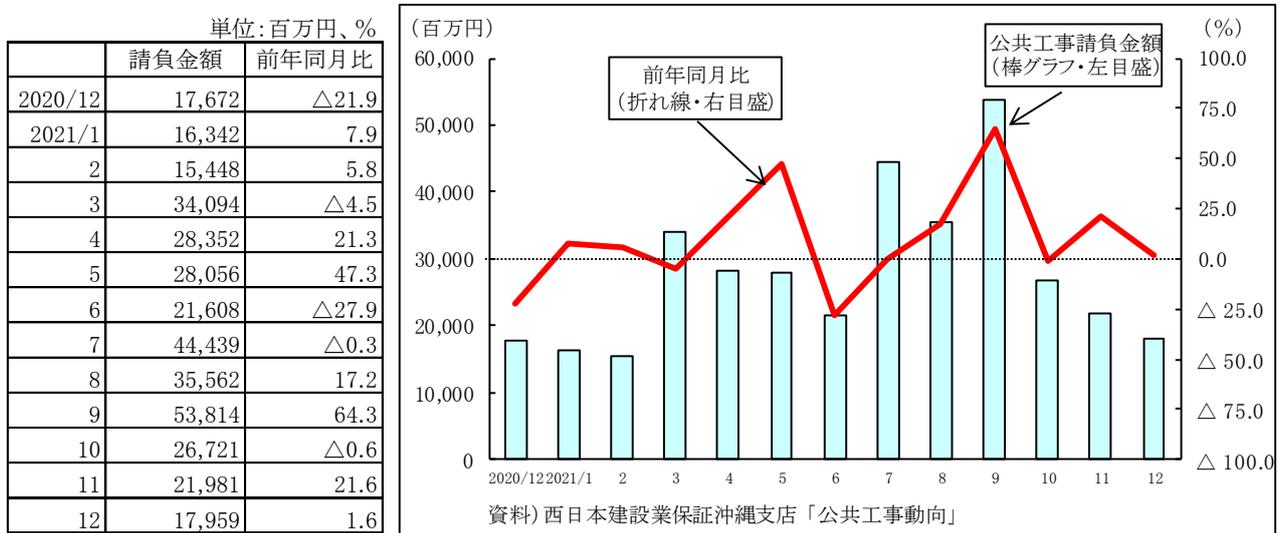
新車販売台数は、全体で2,901台(同10.1%減)となり、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同10.8%減)」、「小型乗用車(同11.3%減)」、「軽乗用車(同1.2%減)」において、世界的な半導体不足の影響による納品の遅れが継続していることなどにより、生産が減少し、前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

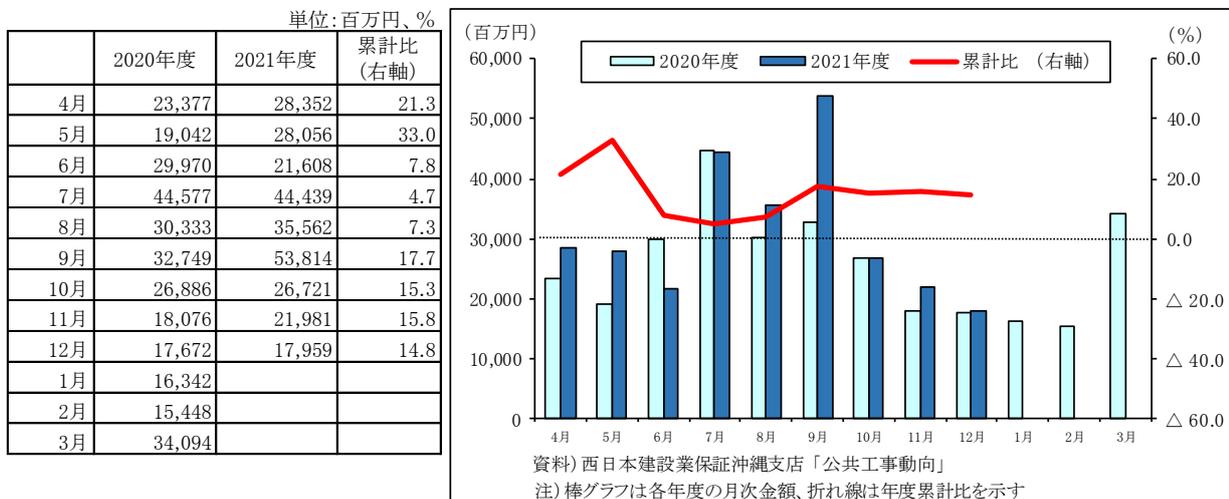


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



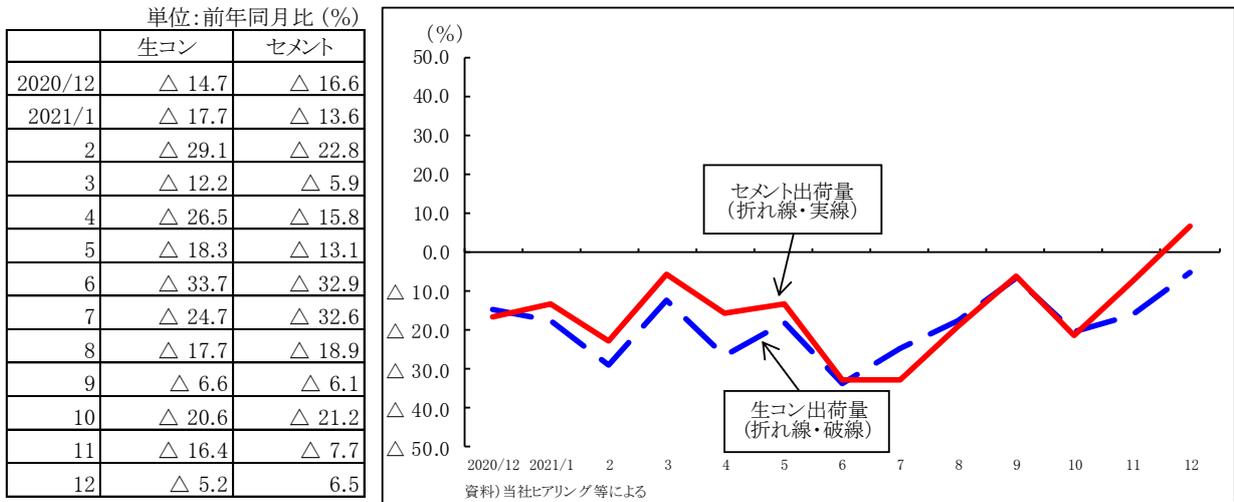
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。



12月の公共工事請負金額は、前年同月比1.6%増の179億5,900万円となりました(2ヵ月連続増)。今年度累計値では14.8%増となっております。

発注者別でみると、「独立行政法人等(同156.2%増)」、「国(同31.4%増)」、「市町村(同9.2%増)」は前年同月を上回りました。一方、「沖縄県(同47.1%減)」、「その他の公共的団体(同44.3%減)」は前年同月を下回りました。

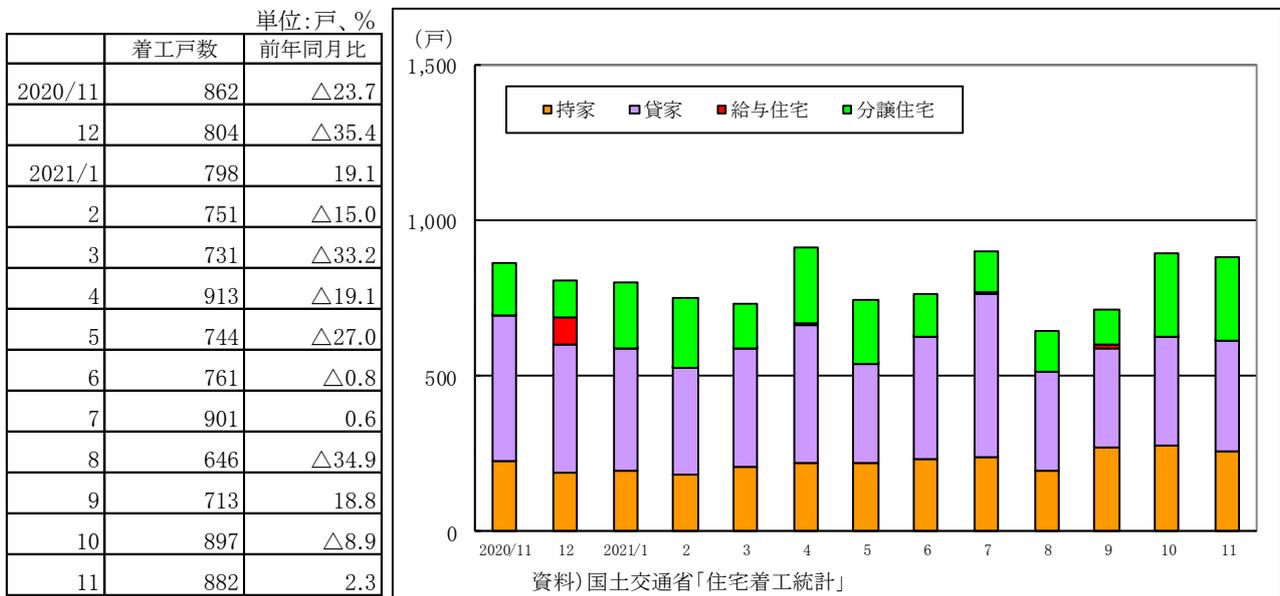
②建設資材・・・生コンは前年同月を下回り、セメントは前年同月を上回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は5.2%減と23ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、防衛関連や学校関連等への出荷が減少したことなどから前年同月より23.1%下回り、民間工事向けは、医療関連やホテル関連等への出荷が増加したことなどから前年同月より8.1%上回りました。セメント出荷量は6.5%増と18ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

③【参考】住宅投資(11月)・・・着工戸数は前年同月を上回る。

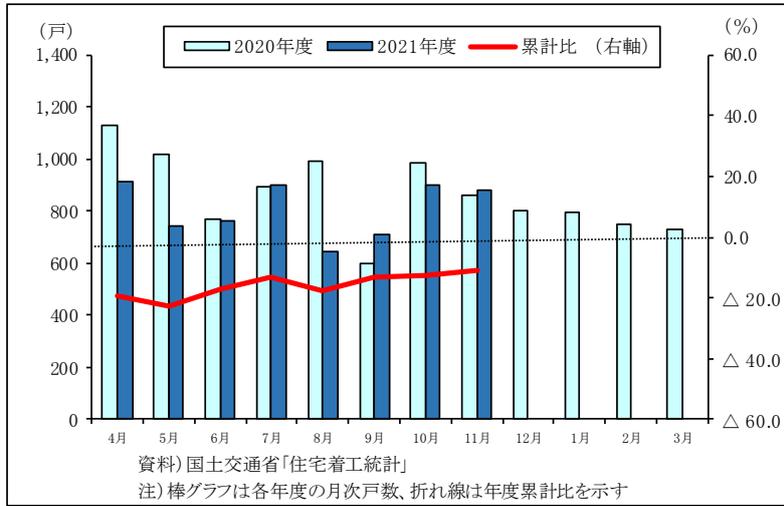


11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比2.3%増の882戸となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「持家(同12.4%増)」や「分譲住宅(同63.0%増)」は前年同月を上回りました。一方、「貸家(同23.8%減)」は前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。

単位:戸、%

	2020年度	2021年度	累計比 (右軸)
4月	1,129	913	△19.1
5月	1,019	744	△22.9
6月	767	761	△17.0
7月	896	901	△12.9
8月	993	646	△17.5
9月	600	713	△13.4
10月	985	897	△12.7
11月	862	882	△11.0
12月	804		
1月	798		
2月	751		
3月	731		



今年度累計値では、11.0%減となっています。



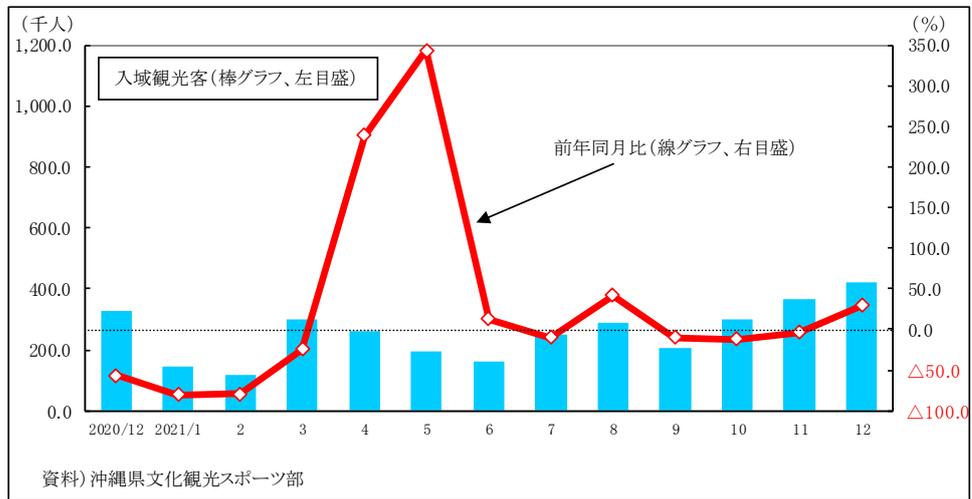
■観光関連： (やや悪い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・4ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/12	326.2	△ 56.8
2021/1	144.0	△ 80.2
2	118.8	△ 79.9
3	299.2	△ 24.5
4	262.6	239.7
5	195.2	343.6
6	162.9	13.0
7	250.4	△ 9.7
8	288.2	42.1
9	204.9	△ 10.0
10	299.0	△ 12.4
11	368.0	△ 3.4
12	423.5	29.8

※外国客は乗務員等を含む

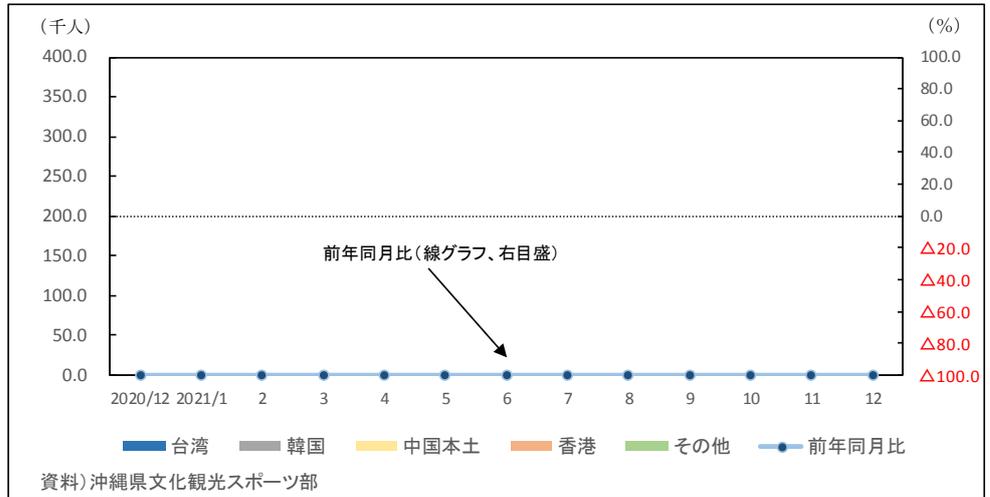


外国客 入域観光客数・・・前年同月同様、皆減。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2020/12	0.0	△ 100.0
2021/1	0.0	△ 100.0
2	0.0	△ 100.0
3	0.0	△ 100.0
4	0.0	△ 100.0
5	0.0	△ 100.0
6	0.0	△ 100.0
7	0.0	△ 100.0
8	0.0	△ 100.0
9	0.0	△ 100.0
10	0.0	△ 100.0
11	0.0	△ 100.0
12	0.0	△ 100.0

※外国客は乗務員等を含む



12月の入域観光客数は、97,300人多い423,500人(前年同月比29.8%増)となり、1年10ヵ月ぶりに入域観光客数が40万人を超えました。コロナウイルスの感染抑制などにより、旅行需要が一定程度回復したことから、前年同月を上回りました。

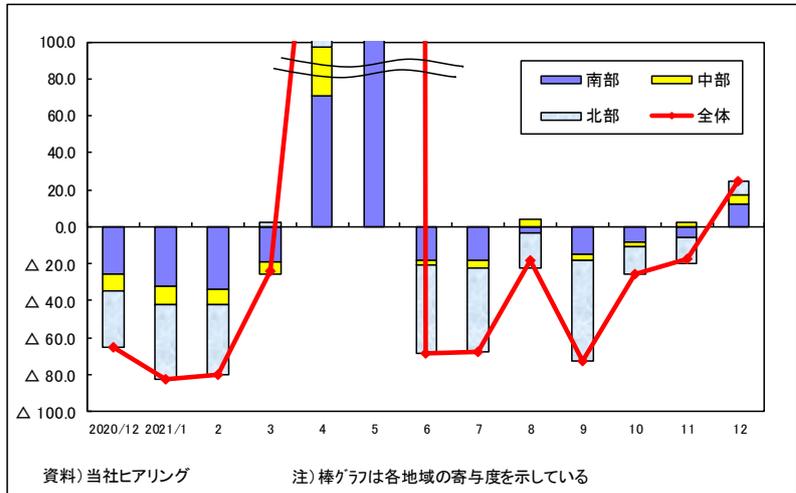
前々年(2019年)同月比では331,600人減少(43.9%減)と下回っており、依然として厳しい状況となっています。

外国客入域観光客数は、前年同月同様、皆減となりました。台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置が継続しており、引き続き厳しい状況が続くと予想されます。

②観光施設入場者数・・・7ヵ月ぶりに前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2020/12	△ 65.3	△ 69.7	△ 65.5	△ 61.9
2021/1	△ 82.3	△ 87.8	△ 77.1	△ 79.6
2	△ 80.3	△ 91.1	△ 81.7	△ 72.5
3	△ 23.6	△ 46.0	△ 44.3	5.2
4	247.0	208.7	242.5	271.5
5	17,071.0	22,466.4	5,377.9	25,429.4
6	△ 68.8	△ 70.6	△ 47.7	△ 69.6
7	△ 67.5	△ 65.3	△ 64.9	△ 68.7
8	△ 18.4	△ 9.0	76.8	△ 35.2
9	△ 72.4	△ 56.8	△ 56.9	△ 79.8
10	△ 25.9	△ 28.1	△ 24.2	△ 25.1
11	△ 17.4	△ 16.0	31.3	△ 24.4
12	24.6	37.8	36.3	13.6



※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

資料) 当社ヒアリング

注) 棒グラフは各地域の寄与度を示している

観光施設入場者数は、全体では 24.6%増となり、7ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。新型コロナウイルスの感染抑制による全国的な旅行需要の高まりや、県や市町村の需要喚起施策などにより、前年同月を上回りました。地域別では、南部の観光施設は 37.8%増、中部は 36.3%増、北部は 13.6%増と全地域で前年同月を上回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、全体で 56.8%の減少となります。内訳では南部にある観光施設は 58.3%減少、中部は 53.0%減少、北部は 56.7%の減少となっています。

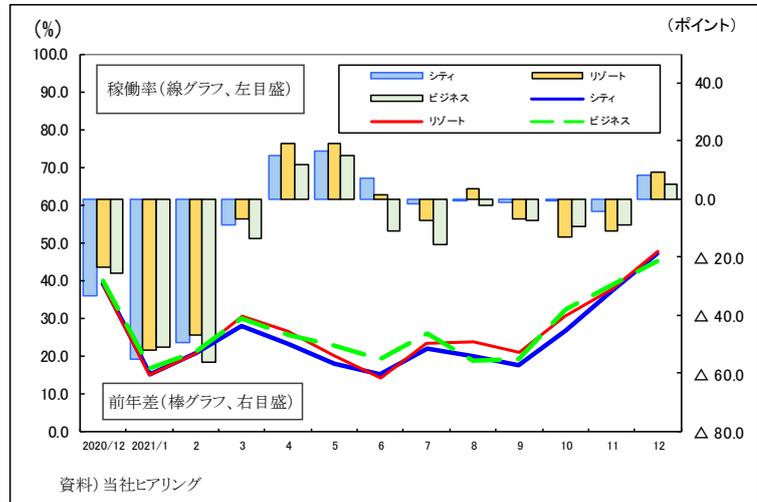
③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2020/12	38.9	38.5	39.9	△ 33.2	△ 23.3	△ 25.5
2021/1	15.1	14.9	16.9	△ 55.1	△ 51.9	△ 51.2
2	20.9	20.4	21.2	△ 49.4	△ 46.7	△ 56.4
3	27.8	30.3	29.8	△ 9.2	△ 7.0	△ 13.4
4	23.0	26.4	25.5	14.7	19.3	11.6
5	17.9	20.3	22.7	16.6	18.9	15.1
6	15.3	14.1	19.3	7.2	1.3	△ 11.1
7	22.1	23.2	25.9	△ 1.8	△ 7.3	△ 15.8
8	19.8	23.8	18.7	△ 0.2	3.5	△ 2.0
9	17.6	20.8	19.2	△ 1.2	△ 6.7	△ 7.6
10	26.8	30.4	32.2	△ 0.2	△ 13.3	△ 9.7
11	37.1	37.5	38.7	△ 4.1	△ 10.8	△ 9.1
12	47.1	47.5	45.1	8.2	9.0	5.2

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



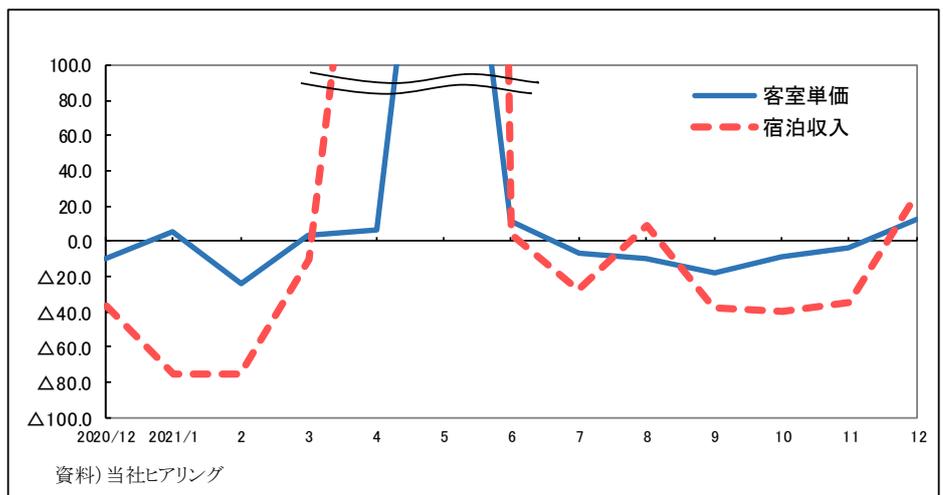
県内ホテル稼働率は、新型コロナウイルスの感染抑制などにより全国的に旅行需要が回復傾向となったことや、「おきなわ彩発見キャンペーン」などの施策効果もあり前年同月を上回りました。シティホテルは前年同月比 8.2 ポイント増加、リゾートホテルは 9.0 ポイント増加、ビジネスホテルは 5.2 ポイント増加しました。

(参考)前々年(2019年)比では、シティホテルは 25.0 ポイントの減少、リゾートホテルは 14.3 ポイントの減少、ビジネスホテルは 20.3 ポイントの減少となりました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2020/12	△9.8	△36.3
2021/1	5.2	△75.0
2	△24.1	△75.6
3	3.5	△10.5
4	6.5	295.2
5	323.9	2,310.5
6	11.2	4.4
7	△6.6	△28.0
8	△9.9	8.9
9	△17.6	△38.1
10	△9.0	△40.1
11	△3.8	△34.5
12	12.5	26.5



※対象施設数: 26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く(R3.10にてホテル1施設の集計終了し、R3.11より新たなホテル1施設を集計開始)

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 12.5%増と 6 ヶ月ぶりに前年同月を上回り、宿泊収入においては 26.5%増と 4 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。

(参考)前々年(2019年)比では、客室単価は 1.5%の増加、客室収入は 19.4%の減少となっています。

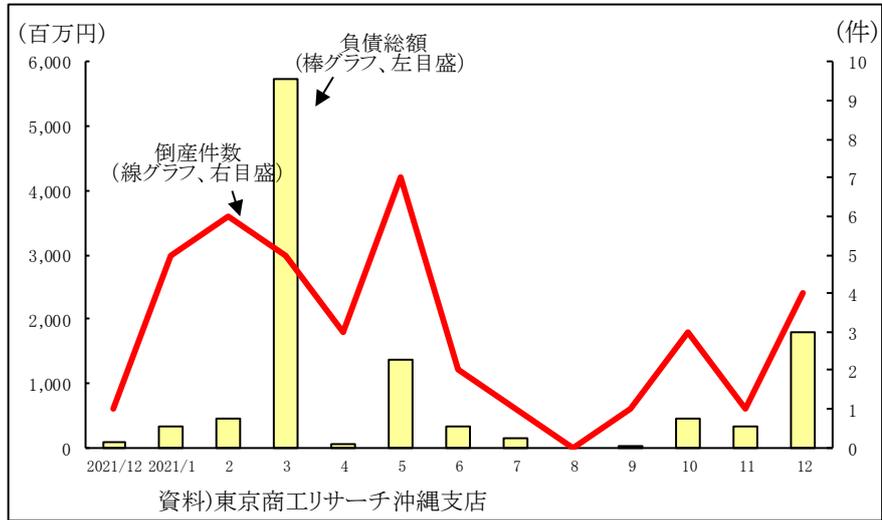


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/12	88	1
2021/1	312	5
2	454	6
3	5,753	5
4	37	3
5	1,359	7
6	337	2
7	154	1
8	0	0
9	26	1
10	434	3
11	320	1
12	1,803	4



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

12月の企業倒産件数は、4件(うち大型倒産は1件、大口倒産は1件)となり、前年同月より300.0%上回りました。

負債総額は18億300万円となり、前年同月より1,948.9%上回りました。

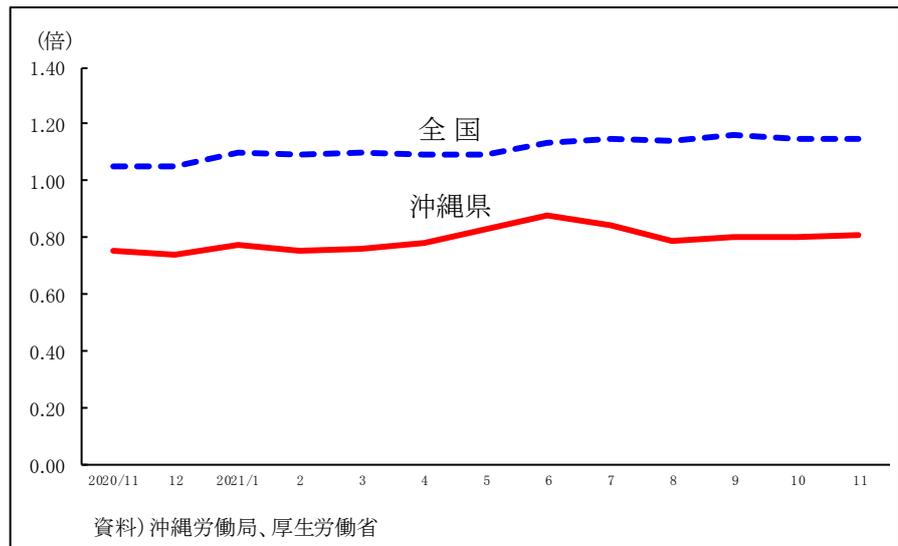


■雇用関連： (やや悪い)

①【参考】有効求人倍率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2020/11	0.75	1.05
12	0.74	1.05
2021/1	0.77	1.10
2	0.75	1.09
3	0.76	1.10
4	0.78	1.09
5	0.83	1.09
6	0.88	1.13
7	0.84	1.15
8	0.79	1.14
9	0.80	1.16
10	0.80	1.15
11	0.81	1.15



注) 季節調整済

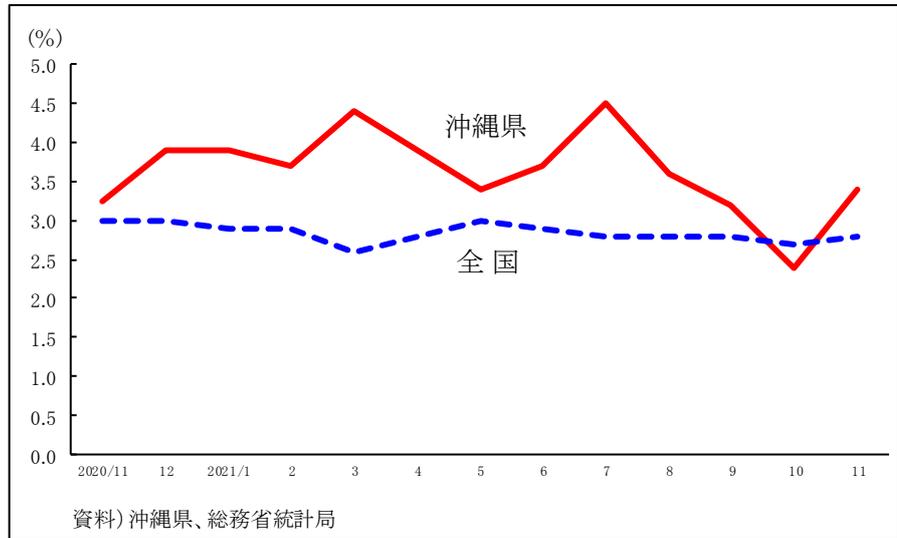
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

11月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.6%減の25,650人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.1%減の31,832人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.81倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。

②【参考】完全失業率(11月)・・・沖縄、全国はともに前月より上昇。

単位:%		
	沖縄県	全国
2020/11	3.3	3.0
12	3.9	3.0
2021/1	3.9	2.9
2	3.7	2.9
3	4.4	2.6
4	3.9	2.8
5	3.4	3.0
6	3.7	2.9
7	4.5	2.8
8	3.6	2.8
9	3.2	2.8
10	2.4	2.7
11	3.4	2.8

注) 季節調整済



11月の完全失業率(季節調整値)は、3.4%となり前月より1.0ポイント上昇しました。